

## MotoGP 第15戦日本GP

V.ロッシ (キャメルヤマハ-Motul)が2位表彰台。  
ポイントリーダーのヘイデンとの差は12ポイントと詰まる。(9/23-24)

2006年9月23-24日、ツインリンクもてぎにてMotoGP第15戦、日本GPが開催された。

先週のフィリップアイランドで開催されたオーストラリアGPでV.ロッシ(キャメルヤマハ-Motul)は2位表彰台を獲得、ランキング2位に浮上、トップとの差を26ポイントと縮めていた。今回の日本GPでもロッシは2位表彰台を獲得、ポイントリーダーのN.ヘイデン(ホンダ)が5位で終わったため、ヘイデンとの差はわずか12ポイントとなり、年間チャンピオン獲得への望みをつなげた。

V.ロッシは予選の終盤、1周のみ残されたチャンスに2005年のポールレコードを上回るタイムをたたき出し、2番グリッドを確保。決勝では序盤3位を走行するも、15周目でメランドリをかわし2位に浮上。1時はトップのカピロッシ(ドカティ)に1秒差と詰め寄るが、その後カピロッシがペースを上げたため徐々に離されてしまい、最終的には5秒ほど離れたものの堂々の2位フィニッシュとなった。

MotoGP残るは2戦。今季序盤苦戦が続き、チャンピオンは絶望的かと思われていたロッシ選手。しかしシーズン後半の怒涛の追い上げで優勝は射程距離となってきた。



Rizla Suzukiのピットで  
パーツクリーンを使用するメカニック



### リザルト:

順位	ライダー	チーム	マシン	タイム
1	L・カピロッシ	Ducati Marlboro Team	Ducati	43'13.585
2	V・ロッシ	CamelYamaha Team	Yamaha	+5.088
3	M・メランドリ	Fortuna Honda	Honda	+8.378
4	S・ジベルナウ	Ducati Marlboro Team	Ducati	+9.712
5	N・ヘイデン	Repsol Honda Team	Honda	+11.944

### ライダーズランキング:

順位	ライダー	マシン	ポイント
1	N・ヘイデン	Honda	236
2	V・ロッシ	Yamaha	224
3	M・メランドリ	Honda	209

\*決勝の翌日、もてぎでは2007年シーズンの新しいレギュレーションの800ccエンジンのテストが行われ、そこでもMOTULは新エンジン用のオイルのテストのため参加してきました。既に2007年シーズンへの動きは本格的です。